



## タニシのえさはなにがよいの

### タニシのえさは、きざんであたえる

タニシのえさは、にぼし、ミミズ、パンやご飯などを、細かくきざんであたえます。キャベツやホウレンソウなどの野菜類は、ゆでてやわらかくしてから、小さく切ってあたえます。水は3～7日に、1回くらいとりかえます。水は、水道水を入れ物に入れて、数時間、空気にさらして置いたものを使います。水そうのかべについた緑色のコケは、タニシのえさになりますから、そうじするとき、残しておきましょう。

### タニシの飼い方

タニシは、底に細かい砂をしいた水そうに、水をたっぷり入れ、水草などもうえて、飼います。水中に空気を送るエアポンプをつけると、さらによいでしょう。

貝殻も、水そうの中に入れておきましょう。貝殻を入れておかないと、仲間の貝殻をかじって、きずだらけにしてしまうことがあります。

タニシは、水の温度が10度以下になったり、28度以上になると、えさを食べなくなり、砂にもぐって、冬みんや夏みんをしてしまいます。

長い期間、飼い続けるのは、むずかしいものです。

(監修・中山 周平)

